



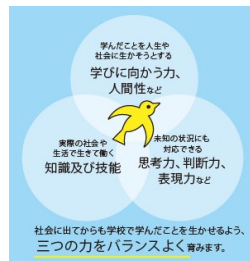
倉中だより

伊勢市立倉田山中学校
伊勢市神田久志本町 1645-2
校長 伊豆 敏
電話 22-9415
FAX 22-2198
E-mail kuratayama@jr.ise-mie.ed.jp

学校教育目標 「心やさしく、たくましく、知性豊かな倉田山中生徒の育成」

◇令和3年度 各教科における評価・評定について一通知表の形式や内容が変更になります◇

平成29年3月に告示された中学校の新学習指導要領が、本年度から全面実施されました。学習指導要領とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が各教科等の目標、内容等を定めている教育課程（カリキュラム）の基準で、およそ10年に1度、改訂されています。今回の新学習指導要領では、幼稚園から高等学校まで、すべての学校教育で新しい時代を生きる子供たちに必要な力（資質・能力）として「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱として整理されました。



学習指導要領の改訂に伴う観点別学習状況の評価の変更点

各教科等の目標及び内容が資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、各教科における観点別学習状況の評価の観点については、

「知識・技能」

「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」

の3観点到整理されました。

[平成20年改訂]

関心・意欲・態度
思考・判断・表現
技能
知識・理解

→

知識・技能
思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度

[平成29年改訂]

学習指導要領の改訂に伴い、倉田山中学校では通知表等の観点別評価についてはこれまでの4(5)観点から、全教科3観点とし、各観点をA°、A、B、C°、Cの5段階で評価することとしました。

- A°・・・「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
- A・・・「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B・・・「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C°・・・「努力を要する」状況と判断されるもの
- C・・・「一層努力を要する」状況と判断されるもの

- ・**知識・技能**は、各教科等における学習の過程を通して知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。
- ・**思考・判断・表現**は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。
- ・**主体的に学習に取り組む態度**は、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

各教科の観点別評価を総括した評定については5段階（5，4，3，2，1）で評定します。評価から評定への総括の方法としては、観点別評価のA°～Cのそれぞれを5点～1点に点数化し、その合計点で評定を出すこととしました。詳細は通知表に記載か、または通知表配布の際にお知らせいたします。